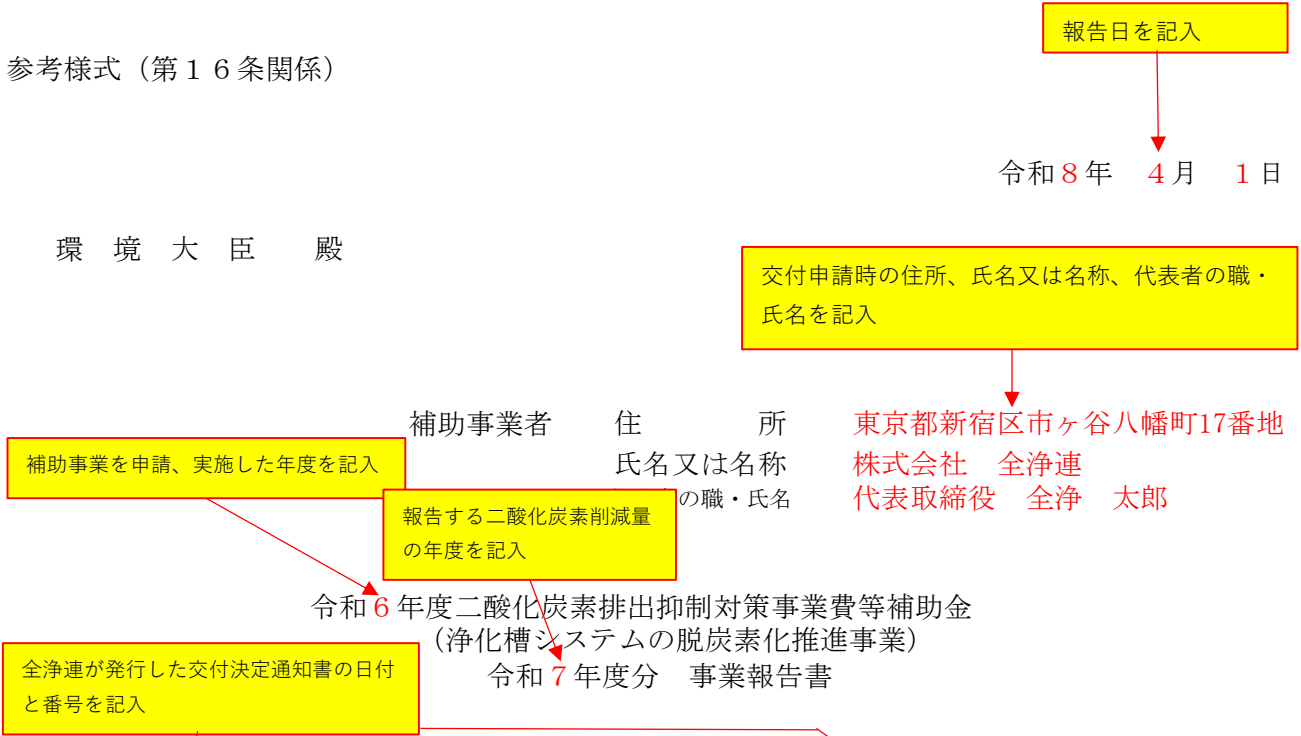


*赤字箇所をすべて記入すること

参考様式（第16条関係）



令和6年6月30日付け 全浄連発 脱炭素 第1234号で交付決定の通知を受けた二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金（浄化槽システムの脱炭素化推進事業）について、同年度交付規程第16条第1項の規定に基づき下記のとおり報告します。

記

- 1 事業実施による二酸化炭素排出削減効果について
 - (1) 令和7年度二酸化炭素排出削減量（実績）
別紙「二酸化炭素排出削減量計算書」の通り
 - (2) 完了実績報告書における二酸化炭素排出削減量に達しなかった場合の原因
※達しなかった場合は、原因を記入する
- 2 添付資料
 - (1) 浄化槽法第11条検査結果書または浄化槽法第7条検査結果書
※初回報告は浄化槽法第7条検査結果書の写しを提出し、
次年度以降は浄化槽法第11条検査結果書の写しを提出する。

注) 交付規程第3条第3項の規定に基づき共同で交付申請した場合は、代表事業者が報告すること。

令和7年度二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助
二酸化炭素排出削減量計算書

全浄連が発行した交付決定通知書の番号を記入

二酸化炭素排出削減量は、削減した年間消費電力量に二酸化炭素排出係数を乗じて算出する。

削減した年間消費電力量 35851.1 kwh

二酸化炭素排出削減量 35851.1 kwh ×

実排出係数
0.0005t-CO2/kwh

 = 17.9 t-CO2

※実排出係数は『電気事業者別排出係数(特定排出者の温室効果ガス排出量算定用)～平成27年度実績～平成28年12月27日公表』より引用される数値だが、条件によって一定ではない為、本事業においては平均値として一律0.0005(t-CO2/kwh)で計算する。

年間消費電力量算定根拠の赤字箇所については交付申請時の二酸化炭素削減効果計算表に準じて記入する。

初回報告時のみ、補助事業完了日の翌日からその年度の3月31日までの日数を365に加算する。2回目報告時以降365と記入。
(例の440は補助事業完了日が1月15日の場合)

○ 年間消費電力量算定根拠

削減した消費電力は、下記の各事業によって削減した消費電力量の合計値 35851.1 kwhである。

注) 各年度事業における初回報告のみは、事業完了日の翌日～翌年度3月31日の期間で計算すること。

既設浄化槽に係る年間消費電力量									
機種	メーカー	型式	出力(kW)	台数(台)	運転時間(h/台*日)	年間日数(日/年)	モーター効率の逆数 and/or 負荷率		年間消費電力量(kWh/年)
ばっ気ブロウ	アンヴィル	不明	3.7	2	12	440	100	82.6	47302.6
調整槽ブロウ	西海工業	不明	0.75	1	24	440	100	72.1	10984.7
スクリーン用ブロウ	不明	不明	0.3	1	24	440	103	100	3263.0
微細目スクリーン	不明	不明	0.1	1	24	440	103	100	1087.6
放流ポンプ	不明	不明	0.75	2	5.2	440	110	100	3775.2
消泡ポンプ	不明	不明	0.25	2	5.8	440	110	100	1403.6
合計年間消費電力量(kWh)									67816.7

新設浄化槽に係る年間消費電力量									
機種	メーカー	型式	出力(kW)	台数(台)	運転時間(h/台*日)	年間日数(日/年)	モーター効率の逆数 and/or 負荷率		年間消費電力量(kWh/年)
ばっ気ブロウ	アンヴィル	CTS50B	2.2	2	12	440	100	85.3	27235.6
流調攪拌ブロウ	アンヴィル	CTS20A	0.3	1	24	440	100	100	3168.0
流調ポンプ	鳩里製作所	50PU2.25	0.25	2	3.1	440	100	100	682.0
放流ポンプ	コバラ	50EWT-2.4	0.4	2	2.5	440	100	100	880.0
合計年間消費電力量(kWh)									31965.6